

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	歴史Ⅱ	2	浅野 和生	
平成25年度以前	歴史Ⅱ	2		
教職				教職
授業の到達目標及びテーマ <p>ともに東アジアにおいて植民地としての歴史を持つ香港と台湾の近代史を学ぶことで、イギリスと日本の植民地統治を比較し、また植民地支配と植民地支配終了後の変化を知って、東アジアの歴史と現状についての理解を深めることが目的です。特に日本統治時代の台湾は、日本史の一部でもあるので、台湾の歴史を知ることは日本の近代をよりよく知ることに也有利于です。</p>				言語 共通
授業の概要 <p>アヘン戦争の結果として英国に割譲された香港がたどった歴史と、17世紀にはオランダ、スペインが進出し、その後は、明、清朝、さらに日本の植民地統治を経て中華民国となった台湾の歴史について解説します。英国は150年余りにわたって香港を統治しましたが、香港の人々は英国人として扱われたことがなく、日本は50年だけ台湾を統治した結果、台湾には日本文化が浸透し、今日もその影響が見られます。この授業では、日英の植民地統治の違いについて講義します。また、1945年以後の台湾の現代史と日台関係についても詳しく説明します。日本にもっとも近い外国であり、世界で最も親日的な台湾について、民主化の過程と現状についてもお話しします。</p>				専門基礎
授業計画 <p>第1回: 授業の概要: 植民地支配と民族自決 第2回: アヘン戦争とイギリスの香港獲得 第3回: 香港の領域拡張、第二次世界大戦と香港 第4回: 中華人民共和国の成立と香港の発展 第5回: 香港返還交渉と返還後の香港 第6回: 台湾のなりたちと日本との出会い 第7回: 日本の台湾統治① 衛生政策と教育政策 第8回: 日本の台湾統治② 産業振興とインフラ整備 第9回: 日本の台湾統治③ 民族運動と地方自治の進展 第10回: 中華民国の台湾接收と2.28事件 第11回: 蒋介石政権の台湾統治 第12回: 日台関係と日中関係 第13回: 李登輝総統の民主改革 第14回: 陳水扁、馬英九政権下の中台関係 第15回: 馬英九政権と日台関係の進展 定期試験</p> <p>【履修上の注意事項】 授業は毎回出席をとります。講義のノートをしっかりとする努力をしてください。また、大学生らしい受講態度を期待しています。</p>				法律一般 政治行政 経営法務 スポーツ福祉
テキスト <p>浅野和生編著『中華民国の台湾化と日本』(展転社 1680円)</p>				25年度以前 共通科目
参考書・参考資料等 <p>浅野和生「香港の将来をめぐる楽観論と悲観論の検証」(『問題と研究』第26巻第10号) 浅野和生編著『日台関係と日中関係』(展転社 1680円)、『台湾民主化のかたち』(展転社 1680円)</p>				
学生に対する評価 <p>期末試験の結果と平常点によって評価します。また、任意提出のレポート課題を2回提示します。</p>				